論文のタイトル

―サブタイトル―

著者氏名1、 本庄花子2、 本庄太郎3

1 地位、所属

2教授, 理工学研究科、伊藤園工学大学

3教授、社会経済研究所、伊藤園大学

**要旨**

アブストラクト及びキーワードはここに示してください。既にマイページでアップロードされたアブストラクトをここにも書いてください。以前アップロードされましたアブストラクトに大きな変更が生じた、つまり発表論文の内容が変わったなどが発生した場合は予め事務局へ一報ください。アブストラクトは600字以内に収めてください。アブストラクと論文内容はよくわかるものであることが理想です。キーワードも読者に論文について情報を与えるものを選べるといいです。xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.

**キーワード**: ５つまで、xxxxxx、 xxxxxx

著者氏名：名前、所属、役職xxxxxxxxxxxxxxxxxxx

住所xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

Tel: xxxxxxxxxxxxxxxx Fax: xxxxxxxxxxxxxxxx

e-mail: xxxxxxxxxx@xxxxxxxxxxx

はじめに

本庄国際奨学財団設立 20周年記念国際シンポジウムの論文発表分科会の発表論文を以下とおり募集します。奮ってご応募ください。テーマ:『平和な国際社会への未来図』。

本国際シンポジウムの目的は下記のとおりです。①２０年の財団の活動の成果を元奨学生の研究、社会活動を通して振り返る。②２０年先の未来を見る。③日本留学、海外留学の促進。④日本文化の再発見。以上の趣旨で、留学、または大学/大学院時代の研究、現在おこなっている研究、そして20年先の未来の社会に自分自身あるいは自分の研究がどのように貢献できるかについて論文を構成してください。

論文発表分科会は多面的な議論により各人の研究をさらに磨く場でもあります。必ずしも完成した研究でなくても、現在進めている研究の、途中段階の論文を投稿していただいても構いません。

１　○○○○○（見出しをつける）

応募方法：１．分科会テーマを選ぶ　（複数選択可）①文化共生、②平和・安全、③社会福祉、④教育、⑤歴史、⑥イノベーション、⑦多様性、⑧グローバル化、⑨テクノロジー、⑩健康、⑪コミュニティ、⑫予防・撲滅

1.1 ○○○○○（見出しをつける）

２．発表言語を選ぶ：1) 日本語　2) 英語

３．要旨を投稿する

•文字数または語数の規定：日本語600字／英語250 words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年5月9日～2016年8月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

４．フルペーパーを投稿する

•文字数または語数の規定：日本語10,000字／英語4,000words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年9月5日～2017年3月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿　　　　　https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

発表の種類：１）口頭発表、２）ポスター発表、３）論文集に掲載のみ

※原則的に口頭発表をお願いします。ただし、当日シンポジウムに参加できない方も、論文投稿できます。

2　○○○○○（見出しをつける）

１．フルペーパー：日本語10,000字、英語4,000　words。

２．句読点と数字：句読点は「、」「。」を使用する。数字は原則としてアラビア数宇（算用数字）を使用する。

３．図・表には題および通し番号を記す。

４．注は本文の該当筒所の右上肩に1），2），3）……の通し番号をつけ，その内容を章末にまとめる。

５．著者の連絡先の情報（名前、所属、役職、住所、電話番号、Fax番号、メールアドレス）を最後に記す。

６．その他は各専門分野の慣例に従う。

論文本文

はじめに

１　○○○○○（見出しをつける）

1.1 ○○○○○（見出しをつける）

　　 ○○○○○（見出しをつける）

2　○○○○○（見出しをつける）

2.1　○○○○○（見出しをつける）

　 　　 ○○○○○（見出しをつける）

おわりに

注

参考文献（原語のままで結構です）

|  |  |
| --- | --- |
| 表１. 表番号をふってください。 | |
| 列のヘッダーはこちら | 列のヘッダーはこちら |
| 行の名前はことら | x |
| 行の名前はことら | x |
| 行の名前はことら | x |
| 行の名前はことら | x |

本庄国際奨学財団設立 20周年記念国際シンポジウムの論文発表分科会の発表論文を以下とおり募集します。奮ってご応募ください。テーマ:『平和な国際社会への未来図』。

本国際シンポジウムの目的は下記のとおりです。①２０年の財団の活動の成果を元奨学生の研究、社会活動を通して振り返る。②２０年先の未来を見る。③日本留学、海外留学の促進。④日本文化の再発見。以上の趣旨で、留学、または大学/大学院時代の研究、現在おこなっている研究、そして20年先の未来の社会に自分自身あるいは自分の研究がどのように貢献できるかについて論文を構成してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 表2. 表の名前をここに書いてください。 これは２列にわたって展開する表の例です。 | | | |
| 列のヘッダーはこちら | 列のヘッダーはこちら | 列のヘッダーはこちら | 列のヘッダーはこちら |
| 行の名前はことら | x | x | x |
| 行の名前はことら | x | x | x |
| 行の名前はことら | x | x | x |

論文発表分科会は多面的な議論により各人の研究をさらに磨く場でもあります。必ずしも完成した研究でなくても、現在進めている研究の、途中段階の論文を投稿していただいても構いません。

図１. これは図を説明する例です

１　○○○○○（見出しをつける）

応募方法：１．分科会テーマを選ぶ　（複数選択可）①文化共生、②平和・安全、③社会福祉、④教育、⑤歴史、⑥イノベーション、⑦多様性、⑧グローバル化、⑨テクノロジー、⑩健康、⑪コミュニティ、⑫予防・撲滅

1.1 ○○○○○（見出しをつける）

２．発表言語を選ぶ：1) 日本語　2) 英語

３．要旨を投稿する

•文字数または語数の規定：日本語600字／英語250 words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年5月9日～2016年8月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

４．フルペーパーを投稿する

•文字数または語数の規定：日本語10,000字／英語4,000words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年9月5日～2017年3月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿　　　　　https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

発表の種類：１）口頭発表、２）ポスター発表、３）論文集に掲載のみ

※原則的に口頭発表をお願いします。ただし、当日シンポジウムに参加できない方も、論文投稿できます。

2　○○○○○（見出しをつける）

１．フルペーパー：日本語10,000字、英語4,000　words。

２．句読点と数字：句読点は「、」「。」を使用する。数字は原則としてアラビア数宇（算用数字）を使用する。

３．図・表には題および通し番号を記す。

４．注は本文の該当筒所の右上肩に1），2），3）……の通し番号をつけ，その内容を章末にまとめる。

５．著者の連絡先の情報（名前、所属、役職、住所、電話番号、Fax番号、メールアドレス）を最後に記す。

６．その他は各専門分野の慣例に従う。

本庄国際奨学財団設立 20周年記念国際シンポジウムの論文発表分科会の発表論文を以下とおり募集します。奮ってご応募ください。テーマ:『平和な国際社会への未来図』。

本国際シンポジウムの目的は下記のとおりです。①２０年の財団の活動の成果を元奨学生の研究、

社会活動を通して振り返る。②２０年先の未来を見る。③日本留学、海外留学の促進。④日本文化の再発見。以上の趣旨で、留学、または大学/大学院時代の研究、現在おこなっている研究、そして20年先の未来の社会に自分自身あるいは自分の研究がどのように貢献できるかについて論文を構成してください。

論文発表分科会は多面的な議論により各人の研究をさらに磨く場でもあります。必ずしも完成した研究でなくても、現在進めている研究の、途中段階の論文を投稿していただいても構いません。

１　○○○○○（見出しをつける）

応募方法：１．分科会テーマを選ぶ　（複数選択可）①文化共生、②平和・安全、③社会福祉、④教育、⑤歴史、⑥イノベーション、⑦多様性、⑧グローバル化、⑨テクノロジー、⑩健康、⑪コミュニティ、⑫予防・撲滅

1.1 ○○○○○（見出しをつける）

２．発表言語を選ぶ：1) 日本語　2) 英語

３．要旨を投稿する

•文字数または語数の規定：日本語600字／英語250 words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年5月9日～2016年8月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

**おわりに**

４．フルペーパーを投稿する

•文字数または語数の規定：日本語10,000字／英語4,000words以内

•下記よりテンプレートをダウンロードし使用してください。

http://hisf.or.jp/20anniversary/entry-guidelines/

•投稿期間：2016年9月5日～2017年3月31日

•投稿方法：各自「マイページ」より投稿　　　　　https://area31.smp.ne.jp/area/p/mhqf5mcsin3pekgq6/HHmiHC/login.html

発表の種類：１）口頭発表、２）ポスター発表、３）論文集に掲載のみ

※原則的に口頭発表をお願いします。ただし、当日シンポジウムに参加できない方も、論文投稿できます。

2　○○○○○（見出しをつける）

１．フルペーパー：日本語10,000字、英語4,000　words。

２．句読点と数字：句読点は「、」「。」を使用する。数字は原則としてアラビア数宇（算用数字）を使用する。

３．図・表には題および通し番号を記す。

４．注は本文の該当筒所の右上肩に1），2），3）……の通し番号をつけ，その内容を章末にまとめる。

５．著者の連絡先の情報（名前、所属、役職、住所、電話番号、Fax番号、メールアドレス）を最後に記す。

６．その他は各専門分野の慣例に従う。

参考文献

本論文に引用された参考文献はこちらでリストアップしてください。

1. 川喜田二郎、1960、『鳥葬の国』光文社。
2. 川喜田二郎、1960、『鳥葬の国』光文社。
3. 川喜田二郎、1960、『鳥葬の国』光文社。
4. 川喜田二郎、1960、『鳥葬の国』光文社。
5. 川喜田二郎、1960、『鳥葬の国』光文社。